



夏休みの経験を通して成長した子どもたちは、2学期の生活への新たな期待をもって、友達や先生と楽しく遊び、意欲的に生活しています。コロナ期間には制約されていた片桐地区敬老会出演も実現し、9月26日（火）の全園児出演に向けて、張り切っている子どもたちです。また、片桐西幼稚園のみんなが待ち続けたブランコの設置も始まり、完成を楽しみにしているところです。

幼児期は、遊びを通して心を育むことが大切な時代です。心の学びや育ちは、数字では表せず見えにくいと言われます。そのため、片桐西幼稚園では、日頃から子どもたちの学びや育ちを、担任が話や写真で伝えたり、園長通信やホームページで紹介したりしており、きっと子どもたちの成長を感じて頂いていることと思います。2学期は、子どもたちの心や体の成長を、運動会や音楽会などを通して、保護者の皆様に見て感じていただける機会があります。自分の全力を出す喜び、友達や先生と心と力を合わせる大切さ、目標をもったことを最後まであきらめずやり遂げようとする粘り強さ等、たくさんの成長を感じて頂けることでしょう。毎日の遊びや生活が充実するように、職員一同、子どもたちと関わっていきますので、2学期も幼稚園教育へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちの夢中～自然の変化への気付きとタブレット活用～

1学期に見つけた赤ちゃんバツタが、2学期に見つけると大きくなっています。たくさんのトカゲの赤ちゃんを見つけました。れんげ組の裏の栗が実り、毎日落ちてくるのを楽しみにしています。子どもたちは、身の回りの変化によく気づき、夢中になれる心と目をもっています。

片桐西幼稚園では、今、タブレットやカメラが子どもたちの身近にあります。見つけた虫を撮影して調べたり、好奇心をもったことを撮影してみんなに紹介したりと、自分たちの遊びや生活に活かしており、子どもたちの夢中の広がりや生活経験の広がりを感じています。





かたにしクラフトで手裏剣を教えてもらったきり組の刺激を受け、的当てが始まりました。友達の刺激から、子どもたちの興味・関心が広がります。



トカゲの赤ちゃんを大切にしている子どもたち。「何食べるのかな」「取れたシippo動いてる!」小さな命と関わりながら、大切な学びをしています。



栗の実をどうやって取り出そうか、試行錯誤。トングの使い方も学んでいます。実を取り出せてニッコリ。



毎年メダカを園にくださる地域の人に、親しみをもって関わりました。

♪9月号 通信を読まれた感想等の他、何でもありましたらお待ちしております♪

クラス() 保護者名()